

「立地適正化計画」の適正化計画

「都市縮小時代の土地利用計画※」
の著者たちが議論する

- 日時:平成30年 8月22日(水) 17:30~20:00
- 会場:建築会館 301, 302室 (東京都港区芝5丁目26番20号)
JR田町駅, 都営地下鉄三田駅(浅草線・三田線) 徒歩3分
- 定員:40名(申込み先着順)
- 参加費:会員 1,500円・会員以外 2,000円・学生 500円(資料代込)

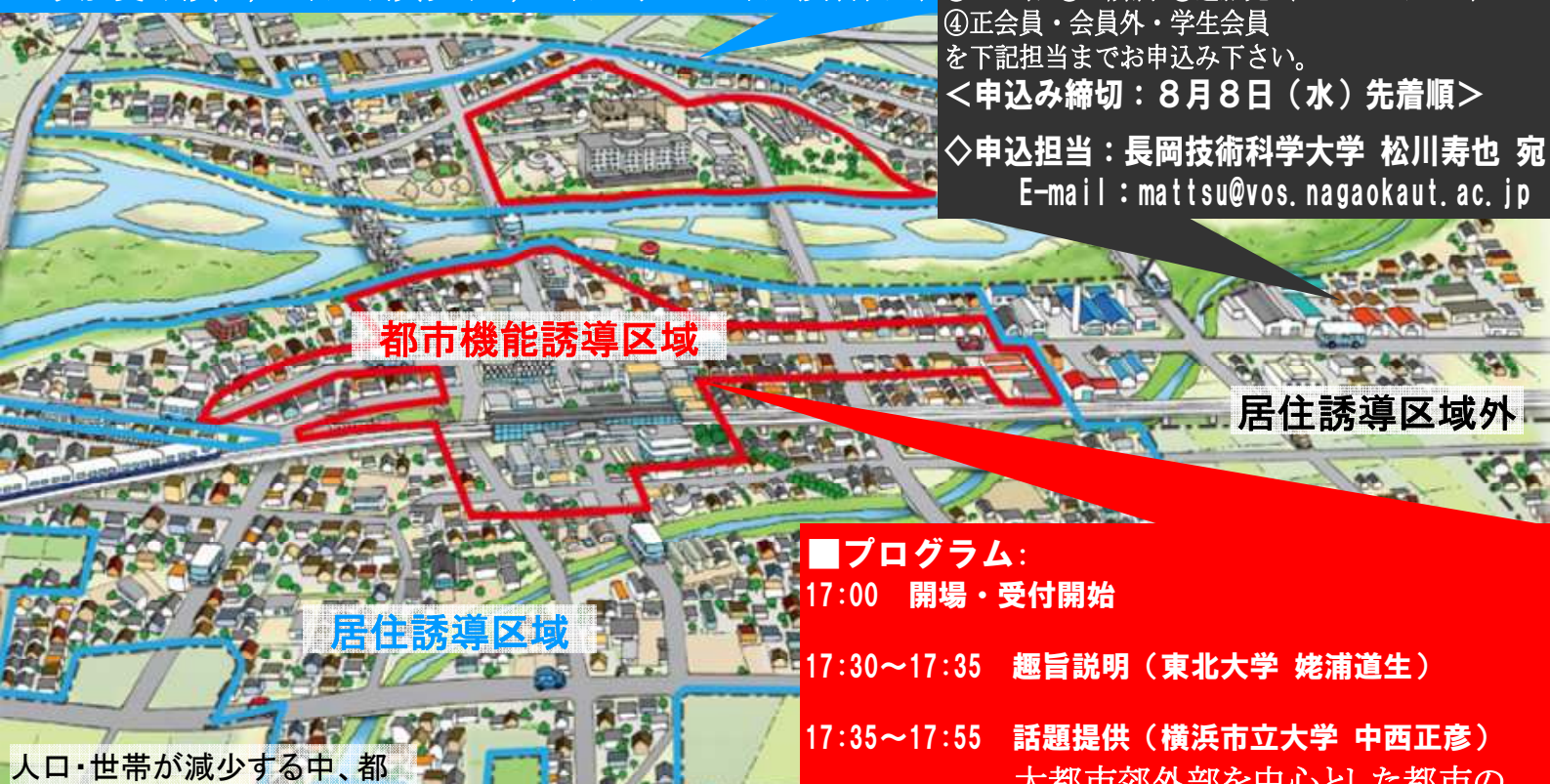
■申込み・問合せ先:

参加希望者はE-mailで【公開シンポ 立地適正化】と表記の上、

- ①ご氏名 ②ご所属 ③連絡先(メールアドレス)
 - ④正会員・会員外・学生会員
- を下記担当までお申込み下さい。

＜申込み締切:8月8日(水)先着順＞

◇申込担当:長岡技術科学大学 松川寿也 宛
E-mail:matsu@vos.nagaokaut.ac.jp



都市機能誘導区域

居住誘導区域外

居住誘導区域

人口・世帯が減少する中、都市空間が縮小していく時代の計画理論として“コンパクトネットワーク”が有効であると言われている。また、そのための計画・実現手法として立地適正化計画制度や地域公共交通網形成計画制度も創設された。しかし、これらは果たして人口・世帯減少する中で持続可能な都市空間を形成するための計画理論や実現手法として適切なのだろうか？本シンポジウムでは、その効果と課題について都市計画・土地利用計画と交通計画の両面からあぶり出し、その可能性と限界を明らかにすることを目的とする。

※姥浦道生氏ら旧小委員会メンバーによる、今後の土地利用政策のあり方に示唆を与えた渾身の一作
学芸出版社より好評発売中!!
(定価¥4,400+税)

都市縮小時代の土地利用計画

多様な都市空間創出へ向けた課題と対応策
日本建築学会 編



無秩序に広がる空き地・空き家を、いかに誘導し、いかに活かすか。
縮小の現状と現場の課題を把握し、現制度のもとで可能な具体的な対応策を含め計画すべきこと、できることを提案する。

■プログラム:

17:00 開場・受付開始

17:30~17:35 趣旨説明(東北大学 姥浦道生)

17:35~17:55 話題提供(横浜市立大学 中西正彦)
大都市郊外部を中心とした都市の“縮小”実態とその制御の可能性

17:55~18:15 話題提供(福島大学 吉田樹)
ネットワークから見た「コンパクト」化の可能性と限界

18:15~18:35 話題提供(工学院大学 星卓志)
立地適正化計画は「コンパクト+ネットワークにつながるか？」

18:45~19:55 パネルディスカッション
パネリスト 中西正彦・星卓志・吉田樹
コーディネーター 姥浦道生
コメンテーター 大崎清史(㈱国際開発コンサルタンツ)

19:55~20:00 閉会挨拶(長岡技術科学大学 松川寿也)

主催:日本建築学会都市計画委員会 都市・地域構造再編小委員会
(イラスト出典:新潟県長岡市立地適正化計画)